



夏の皮膚病に注意！

じめじめとした暑い日が続いています。
夏はワンちゃんネコちゃんにとっても調子を崩しやすい時期です。
高温多湿となる日本の夏は皮膚トラブルが発生しやすく、悪化しない為にも早期発見、早期治療が必要となってきます。
今回は夏に多い皮膚病とその対策についてお話ししましょう。



膿皮症

膿皮症はブドウ球菌による感染症です。
日本のじめじめとした暑い夏の環境は、膿皮症が発症しやすい要因とも考えられており、また背景に犬アトピー性皮膚炎やべとべとした皮膚、皮膚のたるみやしわがあるとされています。
この発症の要因や背景とされるものをうまくコントロールして膿皮症を対策しましょう。
膿皮症が繰り返す場合は消毒薬の入ったシャンプーを適度にしましょう。



マラセチア性皮膚炎

マラセチア性皮膚炎はマラセチア菌という真菌による皮膚炎です。マラセチア菌がアフラを好む性質から、アフラの溜まりやすい皮膚の表面がこすれ合う部位に発症します。アフラ臭い独特の匂いがする事も特徴となります。
治療には抗真菌薬の投与やスキンケアを実施しますが、背景にアトピー性皮膚炎や代謝性疾患、バランスの悪い食事などが考えられるため病院で相談しましょう。





アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎は皮膚のこすれる部位に生じる皮膚炎で、はじめは皮膚の赤みや脱毛が見られます。6ヵ月齢から3歳齢で発症し高温多湿の夏の時期には痒みの症状が悪化しやすいとされています。

環境要因や皮膚バリア機能の問題、免疫学的要因などが複雑にかかわり発症するためまずは病院に相談しましょう。

ノミアレルギー性皮膚炎

ノミアレルギー性皮膚炎はノミの唾液に反応して痒みを生じるアレルギー性の疾患です。背中や腰あたりを主体として腹部や後ろ足に痒みが生じ、痒みによる行動で赤みや脱毛が見られます。

治療としては、ノミ予防や駆除とともに痒みに対する抗炎症薬の投与が必要となってきます。

掃除機で吸い込むだけでもノミは駆除できるため、ノミの好むカーペットやベッド、ソファの下はこまめに掃除しましょう。



秋の健康診断



今年は秋の健康診断キャンペーンを10/1～11/30までの2ヶ月間行います。

ワンちゃんネコちゃんの身体の変化を見逃さないためにも定期的な健康チェックが大切です。

血液検査のみのライトコース、画像診断や尿検査、便検査を含むスタンダードコース（3歳以上のワンちゃんネコちゃんにおすすめ）、プレミアムコース（7歳以上のワンちゃんにおすすめ）と3つのコースから選べます。

*スタンダードとプレミアムコースは要予約です

電話予約連絡先はこちら

⇒0568-67-1267

⇒0568-65-6500